

1, 活動スケジュール

- ① 講師と担任が、本日の活動について打ち合わせをしておく。
- ② 挨拶をする。
- ③ 講師の指示を聞いて活動をする。
- ④ 次の活動について聞く。
- ⑤ 活動の終わりを知り、終わりの挨拶をする。

2, 〈本日の活動のねらい及び内容〉

- ・練習を通して、クラス、学年みんなで参加することを学ぶ。
- ・達成感を感じ、自信をもつ。
- ・サメの動きをよく見て、どこに逃げたらよいのか判断したり、捕まった時には仲間に助けてもらえるサインを出したりして楽しむ。

〈活動のために準備した素材や道具、環境の設定〉

道具・・・パラバルーン、・マット、カラーコーン8本

3, 活動の様子・・・3クラスを二チームに分けて行う。

体操の講師	担任及び子どもの姿
・講師が姿勢を良くし、始まりの挨拶をすることを伝える。	・姿勢をよくするように担任も子どもたちに促し、一緒に挨拶をする。
・今日の活動について話をする。バルーンをすることを話す。音楽をかけ、子どもたちが日ごろ練習した状況を見ている。	・子どもたちが音楽に合わせてバルーンをあげたり下げたり、潜るタイミングの前に担任から声かけがあり、スムーズに子どもたちも流れを分かってやっている。バルーンを持って歩く時の手がしっかり上がっている子や、手が下がっている子もいる。
・一回行った後、講師から気付いたことの話がある。「バルーンを持っているときの手はどういう風に上げるといいの？」子ども、「上！」講師、「どのくらい？」「そっか、このくらいあげるとかっこいいね」「目はどこを見たらいいのかな？」子ども「手！」「前！」など、かっこいいと思う言葉を言っている。「じゃあ、もう一回やって見せてくれるかな？」	・講師の指導を受けた後、それを意識して、担任も一緒に再度やってみる。担任が講師から指導を受けたところを前倒しで声出しし、子どもたちが意識できるようにしてバルーンを行う。
・終了後、振り返りをする。講師から「バルーンを引っ張るのも上手になったし、手もしっかり伸びていたし、すごく上手になったよ」と誉められる。	・自分一人ではなく、みんなで行うパラバルーンがうまくできて、講師にも誉められ、満足気な様子である。
・次の活動について話を聞く。「サメから逃げろ」の遊びの内容についての話をすることを聞く。	
・8本のコーンを魚に扮した子どもたちの家に見立てる。サメに扮した講師が泳いでくると、違う家	・担任もサメになって、子どもたちのいる家に子どもたちがぶつからないように、ゆっくり近付いて

に引っ越さないと食べられて、サメの家に連れていかれる。仲間がタッチをしてくれると助かって家に帰れるというルールを聞く。	いく。そのたび、子どもたちは違う家に逃げていく。食べられた子はサメの家に行くが、仲間がすぐに助けにタッチをしに行き、タッチされた子は講師のいないほうに逃げる。
・講師から担任に「ぐるぐる台風になって下さい」と指示が出る。担任が手を広げて子どもたちに近付いていく。	・子どもたちはサメの講師と担任の台風を避けながら、逃げては捕まり、捕まっては仲間に助けられて逃げることを楽しんでいる。
・今日の活動の終わりを伝える。	・姿勢を良くして終わりの挨拶を、声を揃えて言う。

4, 振り返り

- ・運動会に向かったの活動では、担任が主体で子どもたちと一緒にやっている。本日の活動の「ねらい」と、使用する物的環境の意図を担任が講師に話しておくことで、講師による指導を焦点化して聞くことができた。
- ・講師の話聞いたことで、子どもたちのどこの動きを見るのか、動きからテンポなどがあっているのかを、より把握することができた。
- ・普段の正課の体操は講師が主導して行うが、運動会は幼稚園が主体として行っているので、幼稚園や学年のねらいや意図を講師に伝え、子どもたちの姿を通しての講師による実践指導はとても参考になる。

